

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/08/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.41	-0.23
JPY/THB	0.2205	0.0006
USD/JPY	146.94	-1.43
EUR/THB	37.99	0.11
EUR/USD	1.1718	0.0112
USD/CNH	7.172	-0.011
SGD/THB	25.28	-0.03
AUD/THB	21.03	0.08
USD/INR	87.53	0.27
USD Index	97.72	-0.90

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.161	-0.012
10Y (THB)	1.349	-0.012
5Y (USD)	3.759	-0.096
10Y (USD)	4.254	-0.074

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,374.4	37.5
WTI (Oil)	63.66	0.14
Copper	9,796.5	72.0

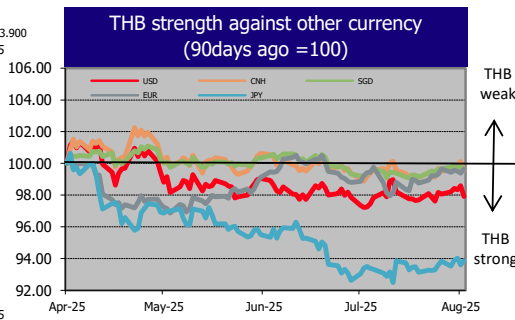
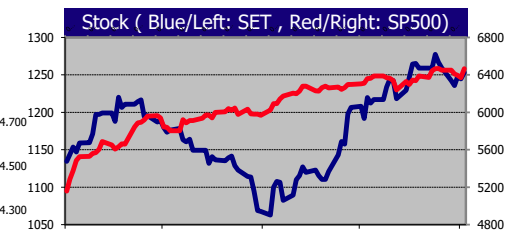
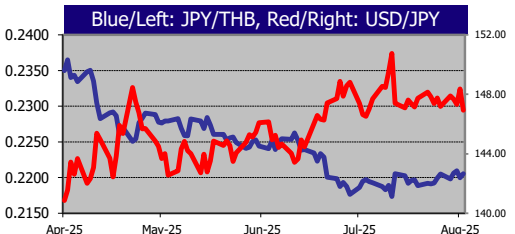
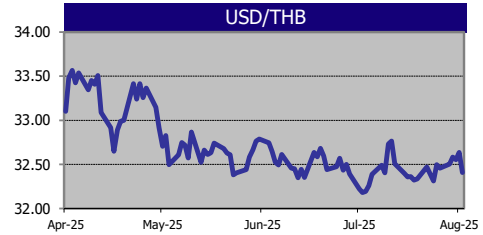
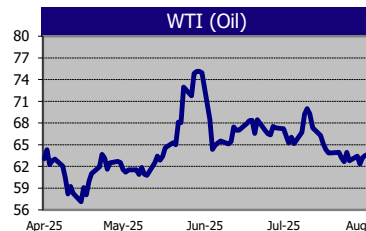
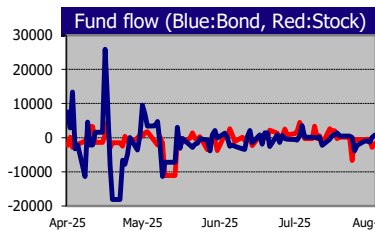
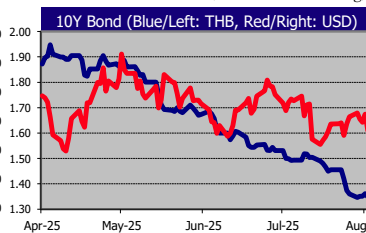
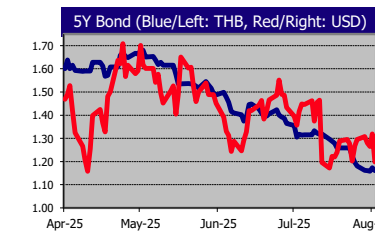
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,253.39	8.60
NIKKEI (JP)	42,633.29	23.12
DOW (US)	45,631.74	846.24
S&P500 (US)	6,466.91	96.74
SHCOMP (CN)	3,825.76	54.66
DAX(GER)	24,363.09	69.75

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,700)	1110.9
Bond net flow	768	708.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

22日(金)のドルパーツは32.60パーツ台半ばで取引を開始すると、予想対比堅調な米国PMIを受けた前日の流れを受けドル高に振れたが、アジア時間・欧州時間を通じてドルが買われては売り戻されるといったどっち付かずの展開となり、オープンの水準で方向感なく推移。32.60パーツ台半ばでNY時間に渡ると、ジャクソンホール会議でのパウエル議長の講演にて、米労働市場の悪化を懸念する内容の発言が相次いだ他、政策転換について言及されたことがサプライズとなり、9月FOMCでの利下げ観測が高まると32.40パーツ台まで一気に下落。続いてトランプ大統領がクックFRB理事が辞任しないなら解任すると発言すると32.30パーツ台前半まで下げ、午後は週末を控える中小幅に反発して取引終了。

●ドル円その他

22日(金)アジア時間のドル円は148円台半ばでオープン。アジア時間を通じて小幅にドルが買われ一時148円台後半まで上昇した後、一部売られ148円台半ばで欧州時間に渡り動意なく推移。NY市場のドル円は148円台後半でオープンすると午前中のパウエル議長を受け、146円台半ばまで下落。午後は週末を控える中、146円台後半まで反発し、そのままの水準でクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

22日(金)、ジャクソンホール会議にて、注目のパウエル議長の講演が行われた。最も関心を集めたであろう政策スタンスについては「変更の検討を慎重に進めることが可能」、「調整が必要になる可能性」と言及し、事実上利下げ再開を示唆したと捉えられ、マーケットは米金利低下、米株上昇、ドル全面安で反応する結果となった。

ただ、今回気にかかったのはドルパーツの反応である。先述のパウエル議長の講演内容を受けてドルパーツも急落したが、先月24日に付けた直近安値には遠く及ばない水準で下げ止まっている。今回の議長講演では労働市場の下振れリスクだけでなく、インフレ上振れリスクについても言及されていたことから、利下げもの道筋も一筋縄ではないのか、という思惑や、そして何より、かねてから本欄にて述べている通りタイ経済の状況はパーツ安をもたらす要因が積み上がっていることがドルパーツ相場をサポートしているのではないだろうか。今後のドルパーツ相場を見通す上で、やはり下落一辺倒の見方は危険であるように感じている。(末廣)